

GREEN RADER

◆第39回くらしと牛乳、牛さんありがとう絵のコンクール

長野県知事賞



＊新春にあたって ～令和七年 年頭メッセージ～

A-Policy【重点事業方針】

生産購買部 包装資材課の取組み

・2024年 各部のトップニュース 03

A-Reports

- ・セントライ青果でJA中野市のトップセールスを開催 07
- ・「第12回令和6年度秋季長野県ブラック&ホワイトショウ」開催 08
- ・第77回長野県畜産共進会（和牛肥育の部） 08
- ・「第39回くらしと牛乳、牛さんありがとう絵のコンクール」表彰式を開催 09
- ・「第42回 牛乳・乳製品利用料理コンクール」開催 09

A-Board

- ・信州のそ菜・果実デジタル版広告 10
- ・JA全農長野の事業現況 10
- ・1月のラジオ番組表 10
- ・編集後記 10

新春にあたたて

令和七年 年頭メッセージ

明けましておめでとうございます。
輝かしい新春をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。

昨年は、元日から最大震度7の能登半島地震が発生、その後8月には東北地方、9月には再び能登地方に豪雨災害が発生するなど大きな自然災害が発生した年でありました。

長野県においては、大きな災害の発生はありませんでしたが、局地的な豪雨や降雹の発生、夏季の高温は、様々な品目に影響を及ぼしました。

一方、ロシア・ウクライナ情勢、イスラエル・パレスチナ情勢など紛争の長期化により、大幅な円安、原油価格の高騰、世界的にもインフレが進行し、生産に必要な肥料・燃料は高止まり傾向となり、農畜産物の営農環境は厳しいままとなっています。

6月から施行されました改正「食料・農業・農村基本法」においては、J Aグループの約2年半にわたる働き

かけにより、法律の基本理念に「食料安全保障の確保」が盛り込まれました。今後は生産現場における多くの課題に対処すべく、適正な価格形成の実現、「食料・農業・農村基本計画」の策定や、各施策の具体化に向けて、引き続き組織をあげて取り組みを進めて参ります。

長野県本部の運営につきましては、今後も県本部総合経営管理制の堅持の基本をふまえ、会員J Aとの一体的な事業運営を進め、運営委員会会長として、引き続き健全な事業運営と長野県農業の発展に尽力していく所存であります。

本年は「2025～2027 J A長野県3カ年計画」「県本部中期事業計画（令和7～9年度）」のスタートの年となります。この中では、①持続的な農業生産基盤づくりによる農業生産量の維持・拡大、②販売力強化とコスト低減による農家組合員の手取

り最大化、③J A経済事業の収支改善と活気ある地域社会づくりを基本目標としています。

特に販売力強化とコスト低減については、「適正な価格形成」のため、メディア媒体を使用したP R、個別取引先との交渉、「国消国産」の組織的取り組みなどを進めることにより、消費側の理解醸成を進めます。

また、物流や資材コスト低減に努め、J A組合員の手取り向上に努めて参ります。

その他、3部連携を通じた担い手支援強化や、農業DX化による生産基盤強化にも取り組んで参ります。

本年は「巳年」です。巳年はこれまで努力してきたことが実を結びはじめる年だといわれています。また、蛇は脱皮をすることから、新たな挑戦や変化に前向きになるといわれています。食料・農業・農村基本法改正やみどりの食料システム戦略などにより日本農業は大きな転換期にありま

す。全長野県本部は今まで培ってきた経験や糧にさらに成長し、また新たな時代の幕開けとしてA IやI O Tを活用したスマート農業の普及など新たな改革や課題にも果敢に挑戦して参ります。

結びになりますが、組合員をはじめ地域の皆様がご健勝で、災害のない実り多い年となりますようご祈念申し上げ、新春のご挨拶とさせていただきます。

全国農業協同組合連合会長野県本部

運営委員会会長 神農 佳人



包装資材課

生産購買部 包装資材課の取組み

J A 全農長野包装資材課では、物流問題の解決に向けて、様々な取組みを行っています。物流業界ではドライバーの労働時間が問題視されており、2024年4月には時間外労働の上限規制が適用となりました。特に荷役時の長時間拘束が時間規制に大きな影響を与えており、今までのような運送がなくなってしまう可能性があります。段ボール配送も青果物輸送もその例外ではありません。

■段ボール配送

段ボール納品体制は2階上げや高積み、納品場所の整理などの荷役作業による長時間拘束、納品日・時間指定などが課題となっています。年々配送コストが増大し、段ボール価格

が上昇する要因となっています。包装資材課では課題と解決策の周知を目的にチラシを作成し、J A・生産者への啓発活動を行っています。余裕を持った注文、倉庫内の整理整頓など改善に向けて協力を依頼しています。

です。

長野県内の青果物輸送では主に12型

パレット(1200mm×1000mm)を使用しており、段ボール規格も多くはそれに合わせたサイズになっています。

一方、物流業界全体では11型パレット(1100mm×1100mm)になりつつありますが、現

行の段ボールを11型パレットに積載すると積載効率が悪くなってしまう場合があります。それらを解決するために包装資材課では11型パレットに適合した段ボール規格の検討を行っています。

■青果物輸送
青果物輸送では荷物の積み・手降ろしの荷役作業による長時間拘束が課題となっています。それらの問題の解決策のひとつがパレットを使用した輸送

目、きのこ1品目、果実2品目、花1品目で試験を実施しました。サイズに加え、入数や作業性、パレットへの積み方など課題は多数ありますが、長野県青果物の安定輸送に向けて、引き続き取り組んで参ります。

生産者の皆様へ

段ボール配送の2024年問題に関するお願い

物流業界では2024年からの働き方改革関連法の規制(いわゆる2024年問題)への対応を急進に求めており、ドライバーの確保や拘束時間の削減が必須となっています。段ボールの配送についても例外ではありません。業界全体では1運行あたりの平均荷役時間は1時間29分
→段ボールの戸配では平均4時間(4~6名程度)と業界平均を大きく上回っています。
下記の通り配送効率の改善や荷役時間の削減の取り組みについて、ご理解ご協力のほどよろしくお願い致します。

対策内容

1 注文から納品までの日数間隔および時間指定について

納品までの日数間隔が短く、また納品日指定が多くなる傾向があります。納品までの余裕をもった注文、また納品日指定および時間指定については、柔軟に対応致します。

2 倉庫の2階への納品について

2階への納品
1階への納品時間と比較して+1時間(作業人数4~6名)
1階への納品にはパレット積品への対応をお願いします。

3 高積み作業について

倉庫内の効率を上げるため、10段×40段もの高積みを行います。
同じ高さの積高で、高さを半分(20段)にすると1時間30分の削減になります。

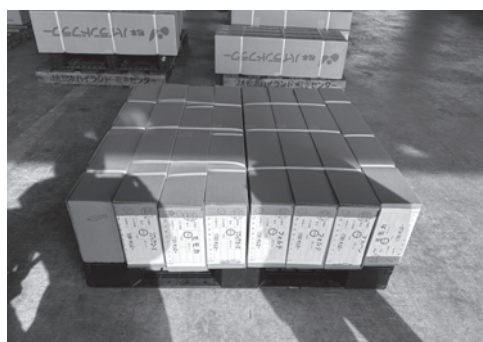
4 倉庫内の整理整頓

段ボール積み降ろし作業が、納品前に片づけることがあります。予め整理整頓を行い、トラック到着後すぐに納品が始められるよう配慮致します。

危険作業の改善

倉庫の2階上げや高積み等の高さ2m以上の積高作業は、労働安全衛生法で「高所作業」に分類され、墜落による労働者の危険を防止する措置として、「作業場を設けるその他の作業の種別」に該当し、手すり、足場等をつけて墜落防止をすることが求められています。

J A/J A 全農長野



11型パレットへの積載試験

2024年 各部の トップニュース

【生産振興部】

Ⅰ園芸情報誌「信州のそ菜」「信州の

果実」電子版スタート

「信州のそ菜」「信州の果実」は、長野県農政関係者、JA営農指導員等による寄稿を中心とした園芸情報専門誌としてJA全農長野が発行しています。

今回、さらに購読しやすい環境を整えるため、令和6年7月より電子版の運用を開始しました。タブレット端末やパソコンからいつでも購読することができ、キーワード検索機能や記事を保存する「クリップ機能」も搭載しています。また、過去5年間のバックナンバーを購読することもできます。

今後、長野県唯一の園芸情報専門誌として、さらなる紙面の充実を図り、購読者の拡大に努めて参ります。

※本誌10ページをご覧ください。

Ⅱりんご高密度植栽培における機械化実 演会開催

本県のりんご高密度植栽培の面積は約500ヘクタールまでに拡大し、大規模生産者も増加しており、省力化に向けた機械化体系の確立が急がれています。

今回、りんご高密度植

栽培における機械化体系の確立に向け、トラクター、草刈機、肥料散布機、高所作業機など12機種の仕事を確認する実演会を開催しました。

生産者からは、「最新の機械を見ることができ、今までの作業時間が大幅に短縮できると確信した」「導入すれば少人数でも効率的に作業を進めることができると思う。前向きに検討していきたい」



との声が寄せられ、導入に対する関心が高いことが伺えました。引き続き、作業の効率化、省力化に向けた取組みを進めて参ります。

【担い手推進センター】

Ⅰ担い手推進における取組み

令和4年度より「担い手推進センター」が発足し、生産販売部門、生産購買部門、生産振興部門の部門間連携によりJA系統事業の推進、農業生産基盤の維持・拡大、生産販売力強化を進めています。

JAと本会担い手推進チームが連携し、担い手への訪問を行い、栽培技術や資材提案、課題解決に向けた推進を継続して取り組んでいます。今後も担い手の要望等に応える提案推進を行って参ります。

【生産販売部】

Ⅰ「青果物・花き取引会議」開催

6月6日(木)、長野市内で「令和6年度 長野県青果物・花き取引会議」を開催しました。取引先から主要卸売会社23社の代表者、長野県からは阿部守

一知事はじめ農政関係者、JA全農長野の神農佳人運営委員会会長、千國茂副会長、長谷川孝治県本部長、また県内JA組合長など約80名が出席しました。

長野県産ブランド力強化による農家手取りの向上と、卸売会社とのパートナーシップ構築を目的に、本会から生産販売事業における重点方針の説明とともに、農家手取り向上につながる価格転嫁を要請しました。代表卸売会社4社からは、

コスト上昇に伴う価格転嫁、物流2024年問題や青果・花き業界におけるDX化の動向について提言をいただきました。



②更なる販売促進強化

新型コロナウイルス感染症が5類に移行されてから2シーズン目となり、宣伝活動をさらに強力に推し進めまし

た。

今年度は2月にオープンしたJR長野駅ビル「Fruit Company」と連携し、7月2日夏の長野県産レタスの日「シナノリップ」「ぶどう三姉妹®」（6月23日長野県ぶどうの日）「りんご三兄弟®」（11月11日長野県きのこの日）「11月22日長野県りんごの日」などの販売促進イベントを実施し、地元客だけでなく、観光客や帰省客、訪日外国人観光客などへ本県産青果物を幅広くPRしました。本年度より新たに制定した「夏の長野県産レタスの日」では、この日を中心に長野県産夏野菜の販売重点月間として、



「夏の長野県産レタスの日」では、この日を中心に長野県産夏野菜の販売重点月間として、



店頭宣伝会だけでなくメディアやPRイベントにより多角的な活動を行いました。

さらに、本県産の野菜やきのこの魅力を伝えるため新たにインスタグラムアカウント「@vege_mush_nagano」を立ち上げ、6シーズン目を迎えた「パシャフル！」と合わせてSNSによる宣伝活動を展開しました。



パシャフル!はここから



vege_mush_nagano はここから

③DX化の取り組み加速

全農長野が取り組んでいる農業生産管理支援プラットフォーム「アグリプラットフォーム」のうち、「青果物販売管理システム」が一部稼働を開始しました。



【生産購買部】

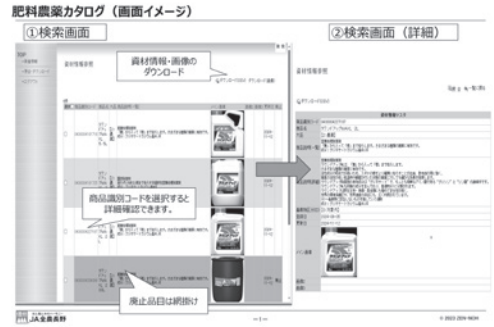
①WEBサイトの強い味方！

肥料農薬カタログのリリース開始

昨今、長野県内のJAでは、WEB上で注文サイトを稼働させ、農家・組合員の利便性向上を図る動きが活発化しています。生産資材課では、JAがWEB上で商品を登録する際に整備が必要な商品画像・情報（全農長野取扱品目に限る）を提供できる「肥料農薬カタログ」を9月末に県内JAへリリースしました。JAの担当者が必要な商品を検索し、商品画像・情報のダ

このシステムは青果物の集出荷販売を生産者から卸売会社まで一気通貫でつなぐシステムで、生産者は出荷量を報告し、卸売会社が予約注文入力を行い、このデータをもとにJAが荷受、分荷、出荷業務を行うことで、デジタル化による業務効率化を進め、情報提供の迅速化、精度向上による販売強化を目的としています。本年は卸売会社の予約注文入力機能が稼働し、順次、機能追加を行いながら物流2024年問題や人口減による人手不足に対応できるシステム構築を行います。

ウンロー
ドができ
るため、
業務効率
化に期待
ができます。
新規
品目につ
いても随
時更新を
行ってい
く予定で
あり、さらなるＪＡの業務効率化をサ
ポートできるシステムを目指します。



肥料農業カタログ

②(株)ＪＡアグリエール長野 管理棟移転新築工事の完成引渡し

(株)ＪＡアグリエール長野の管理棟は昭和57年に建設後、40年以上経過し老朽化しており、配置的にも課題があるため、今回の管理棟移転新築工事で敷地内の場所も移動しました。

施設住宅課では設計管理を行い、鉄骨造2階建、延床面積771㎡の規模で令和6年4月に着工し、11月8日に完成引渡しとなりました。

新しい管理棟の特徴としては、太陽光発電で自家消費電力を補い、環境に



配慮した建物としました。(株)ＪＡアグリエール長野では、今回の建設にあわせて敷地内を効率的に活用し、農家組合員への肥料安定供給と事業の発展を目指していく予定です。

【畜産酪農部】

■共励会、共進会を開催

県下生産者の皆様が丹精込めて育てあげた集大成である質の高い枝肉をPRし、信州産ブランドの販売強化を目的として、今年も共励会・共進会を開催しました。生産者や関係者が集まり、枝肉見学や意見交換をとおして、改め

開催日	名称	会場
4月15日	第36回信州和牛枝肉共励会	京都食肉市場㈱
ゴールデンウィーク向けの商材手当の場として、高品質な和牛が上場されます。国際的に人気の観光地である京都や大阪で、きめ細やかで良質な信州産和牛が支持されています。		
10月23日	第77回長野県畜産共進会 肉豚の部	㈱長野県食肉公社
猛暑による飼養管理に細心の注意を払いながら、上等な枝肉が出品されました。信州ポークの味・肉質は県内量販店や飲食店からも非常に高い評価をいただいています。		
11月26日	第77回長野県畜産共進会 和牛肥育の部	大阪市食肉市場㈱
一年で最もにぎわう大阪の師走の台所に向けて優良な和牛を出荷し、その評価を競います。出品される高品質な和牛は、信州プレミアム牛肉ブランドとして注目され、販売されます。		
12月2日	第45回信州和牛（県内産）枝肉共励会	京都食肉市場㈱
生まれも育ちも長野県の和牛が出品される共励会。12月は大阪市場の県共とこの共励会がまさに関西向けの最重要イベントです。京都市場においては、きめ細やかで芳醇、口どけの良い信州産和牛は、大変高い評価をいただいております。		
12月6日	第77回長野県畜産共進会 交雑牛肥育の部	㈱長野県食肉公社
県内Ａ・コープ店舗などで「信州アルプス牛入賞牛」として販売されます。すきやきや、鍋物需要の重要な商材として人気があります。		
12月7日	信州和牛松本即売会	㈱長野県食肉公社
年末商戦の目玉商品として販売される和牛の共進会。県共進会と並んで優秀な和牛が出品され、翌日には長野県農協直販（株）による展示即売会が開催され、各お取引先に販売します。		

て飼養技術の高さを認識しました。

②長野県中央家畜市場におけるＥＢＬ自主検査結果公表による市場性向上

購買者が安心して購買できる長野県中央家畜市場をめざし、令和5年6月

市場より、和牛雌子牛のＥＢＬ自主検査結果公表を開始しました。ＥＢＬに対しては有効的なワクチンや治療法がなく、発症すると全廃棄となってしまうことから肥育農家の経済的損失となります。今後も、長野県中央家畜市場

の市場性向上に向けて進めて参ります。
(*EBL牛伝染性リンパ種)

絵のコンクール、今年も多数の応募

「第39回くらしと牛乳、牛さんありがと」絵のコンクールの応募数が2021年以降、増えていきます。今年も県内各地の幼稚園・保育園・小学校から、昨年度より多い825点の応募をいただきました。園児・児童が乳牛をよく観察して感じたまま画用紙いっぱいに描かれた絵は、見ている大人も元気をもらえます。

※本誌表紙、9ページをご覧ください。

【生活部】

①JAうちエネポータル利用者拡大中！

燃料・ホームエネルギー課では、令和4年度に独自開発・リリースしたお客様向けポータルサイト『JAうちエネポータル』の登録拡大を進めました。令和6年度における目標登録件数を累計10,000件に設定し、新規登録者向けキャンペーンやダイレクトメールの送付など、JA燃料部門等と連携して件数拡大に取り組んだ結果、令和

6年11月末時点で登録件数が15,000件を突破しました。

JAうちエネポータルは、JAが取り扱うLPガス・配達燃料油・JAでんきの月間使用量や料金をスマートフォン・PCでいつでも確認できるサービスです。

今後キャンペーンやイベントの告知などJAうちエネポータルの活用を促し、組合員・利用者にお得な情報提供や、ホームエネルギー提案に取り組んで参ります。

②SS協同経営ライフライン方式がスタート

本年度4月より、新たにJAながの若槻SSがSS協同経営ライフライン方式として運営を開始しました。若槻SSは、長野市若槻地区を中心に広範



囲で灯油等燃料油を配送し、中山間地から市街地の幅広いエリアで組合員への石油類供給拠点となっています。

また、加盟に併せて導入した配送システムにより、配送の効率化やお得なサービス施策を実施して、地域に必要な燃料事業推進を進めて参ります。

③「まごころ宅配事業」新たな一歩へ

「JAまごころ宅配」事業が6月より(株)長野県A・コープへ移管され「A・コープまごころ宅配」として再スタートしました。

「JAまごころ宅配」は生鮮品の宅

配として昭和50年代後半より「農協まごころ食材」としてスタートし、平成5年には利用者が31,000戸まで達しましたが、以降は利用者の高齢化などにより戸数減少が続いていました。宅配事業の収支改善が求められるなか、今後の事業の方向性についてJAと協議を重ね、地域・組合員のライフライン確保というJAの使命のもと、「JAグループ」として宅配事業を継続する」という観点から、(株)長野県A・コープへの事業移管が成されました。

宅配事業は長い歴史の中で「農協の給食」として親しまれ、地域の生鮮食品供給事業の一端を担ってきました。事業主体は変わりましたが、今後もJAグループの食材宅配事業として組合員および地域社会に貢献していきます。



セントライ青果でJA中野市の トップセールスを開催

JA中野市は11月12日(火)、名古屋市中心部、中央卸売市場のセントライ青果(株)にて、きのこ果実のトップセールスを開催しました。市場関係者や仲卸等の実需者の皆様に、最盛期を迎えたきのこの中心に、リングと冷蔵シャインマスカットのPRを行いました。

JA中野市の望月隆組合長は「中野市も初冬を思わせる季節になりました。ふじはこれから本番を迎えるが、気温が下がり美味しく仕上がっています。シャインマスカットは冷蔵物をしっかりと準備しているので安心して注文をお願いしたい。菌茸は順調な仕上がりで十二分な供給体制ができています。今後、中野市の農産物をご愛顧いただきたい」と挨拶しました。

場内では、プレゼント用に3000セット準備したきのこリングの配布と、えのきたけ・ぶなしめじ・なめこの3種類を使ったきのこ汁の振る舞いを行いました。「いつもより美味しい」「体が温まる」「たたくさんのこが入っていて美味しい」などお褒めの言葉を



(左から) JA 中野市 上野部長、セントライ青果(株) 小坂社長、JA 中野市 望月組合長



きのこ汁の振る舞いで賑わう場内

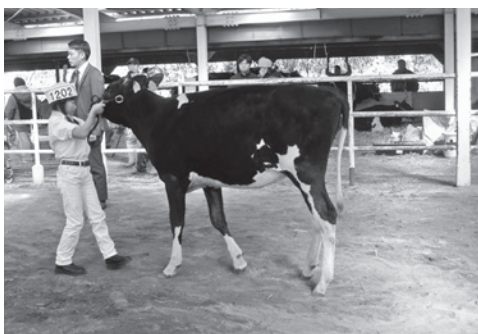


「第12回令和6年度秋季長野県ブラック&ホワイートシヨウ」開催

長野県ホルスタイン改良同志会（事務局／JA全農長野畜産酪農課）は11月9日（土）、「第12回令和6年度秋季長野県ブラック&ホワイートシヨウ」を小諸市の小諸家畜市場にて開催しました。（Ⅱ表紙右下）このシヨウは、長野県内の代表的なホルスタイン種を展示し、その改良水準を比較検討し、今後のホルスタイン種の改良と生産者同士の交流を促進するとともに、酪農の発展に寄与することを目的に、春と秋の年2回開催しています。



グランドチャンピオンに選ばれた(有)KC牧場のKCF MS ユニクス サンデー ET



ジュニアリードマンの審査

全国の共進会で審査を行っている(株)野澤組の高橋良典氏を迎え、出品牛の体形バランス等の審査講評をしていただきました。

審査の結果、グランドチャンピオンには、(有)KC牧場（所属／北軽クラブ・群馬県）のKCF MS ユニクスサンデー ET、リザーブグランドチャンピオンには、(有)萩原牧場（所属／北軽クラブ・群馬県）のブルーエンゼルタトウーブロコリンが選ばれました。

また、第12部ジュニアリードマンの審査では、小学生から高校生までが牛を引く技術を競い、中学生以下の部では萩原大晴さん（長野原町立浅間小学校5年生・群馬県）、高校生以上の部では新海治美さん（酪農学園大学附属とわの森三愛高校3年生・北海道）がベストリードマンに選ばれました。

寒さの続く1日でしたが、県内を中心に多くの出品があり、若き酪農家の熱気あふれるシヨウとなりました。
今後も酪農家の相互交流を深め、乳牛の改良・生産の一助となるよう努めて参ります。

第77回長野県畜産共進会（和牛肥育の部）

『最優秀賞にJA松本ハイランドの竹淵洋平さん』

JA全農長野畜産酪農課は11月26日（火）、大阪市食肉市場（株）で第77回長野県畜産共進会和牛肥育の部を開催しました。県内生産者により丹精込めて育てられた選りすぐりの黒毛和種46頭が出品されました。

上物比率（4等級以上比率）100・0％（5等級以上比率95・7％）、長野県独自の美味しさ基準をクリアした信州プレミアム牛肉」認定率は100・0％となり、特にA5等級の中でも最高位に格付されるBMSナンバー12が25頭も出品され、品質に優れた共進会となりました。

最優秀賞に選ばれたJA松本ハイランドの竹淵洋平さんの出品牛は、枝肉重量587・0kg、BMSナンバー12、ロース芯面積109cm²であり、歩留まりも良い優れた成績となりました。（Ⅱ表紙左下）

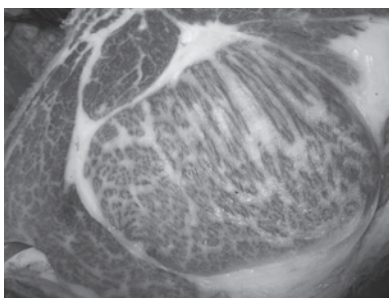
畜産酪農課は、今後も長野県の肉牛事業発展のため、枝肉共進会・研修会等を

開催し、生産者の技術

向上を図る

と共に販路

拡大に努めて参ります。



最優秀賞に選ばれた竹淵さんの枝肉

共進会平均成績

種性別	平均枝肉重量	平均単価
和牛去勢	571.9kg	2,631 円
和牛雌	492.8kg	2,462 円

「第39回くらしと牛乳、牛さんありがとう 絵のコンクール」表彰式を開催

長野県牛乳普及協会は11月16日(土)、J A長野県ビルで、「第39回くらしと牛乳、牛さんありがとう絵のコンクール」の表彰式を開催し、金賞10名を表彰しました。応募総数825点の中から厳正なる審査の結果、金賞10名・銀賞10名・銅賞10名・佳作5名を選挙しました。金賞の部の長野県知事賞には、坂の上小学校の土屋陽奏さん、川中島小学校の北澤千弥さん、あさま幼稚園の鈴木雪斗さんが選ばれました。(Ⅱ表紙上右から)

入賞された皆様の絵は、乳牛をよく観察して細部まで丁寧に描かれた作品や、手法や技法を凝らした作品など、力作ぞろいでした。

このコンクールは園児・児童の牛乳利用普及拡大および酪農理解醸成を

目的に開催しています。後援をいただいた関係団体とともに、「安心・安全の信州産牛乳」の消費拡大に今後も努めて参ります。

ます。



前列左から 大久保 羽純さん、門田 彩芭さん、寺田 杏さん、鈴木 雪斗さん、北澤 千弥さん、石田 陽菜梨さん、武井 大河さん、栗田 いろ葉さん、寺田 裕真さん

「第39回くらしと牛乳、牛さんありがとう絵のコンクール」金賞受賞者 (敬称略)

入賞	学校・園名	学年・年齢	氏名
長野県知事賞	坂の上小学校(小諸市)	5年生	土屋 陽奏
	川中島小学校(長野市)	6年生	北澤 千弥
	あさま幼稚園(佐久市)	年長・5歳	鈴木 雪斗
長野県教育委員会賞	昭和小学校(長野市)	5年生	寺田 杏
	ひかり園(長野市)	年中・5歳	門田 彩芭
	あそびの森あきわ(上田市)	年中・5歳	大久保 羽純
Jミルク会長賞	真島小学校(長野市)	5年生	栗田 いろ葉
	富士見小学校(富士見町)	5年生	武井 大河
長野県牛乳普及協会会長賞	神科小学校(上田市)	4年生	寺田 裕真
	ひかり園(長野市)	年中・5歳	石田 陽菜梨



入賞作品は全農長野のホームページまたはこちらからご覧いただけます。

「第42回牛乳・乳製品利用料理コンクール」開催

長野県牛乳普及協会は10月25日(金)、J A長野県ビルで「第42回牛乳・乳製品利用料理コンクール」の書類審査会を開催し、応募総数219点の中から入賞者9名を選挙しました。このコンクールは一般消費者、学生を対象に日常生活の中で牛乳および乳製品をより活用してもらう動機付けと定着化を図ることを目的に毎年開催しています。

今年は特に高等学校からの応募が多数あり、牛乳やチーズ、ヨーグルトなどの乳製品を活用した多彩なアイデアが提案されました。厳正なる審査の結果、最優秀賞(長野県知事賞)には、上田千曲高等学校の小林福志さんによる「夏野菜冷や汁」が選ばれました。味噌とすりごまを水で伸ばした汁に牛乳をたっぷり加え、さばの水煮缶と豆腐、夏野菜をふんだんに入れた、簡単に作れて彩りも美しくおいしく仕上げた冷や汁です。

入賞者のレシピは牛乳・乳製品をメインに活用したデザートや、主食・副菜などバラエティに富んだ料理が多くみられました。

入賞した料理についてはレシピの記載内容等を確認したのち、J A全農長野HPに掲載します。

このコンクールをとおして、牛乳・乳製品の普及に努め、後援をいただいた関係団体とともに、「安心・安全の信州産牛乳」の消費拡大に今後も努めて参ります。

第42回牛乳・乳製品利用料理コンクール入賞者 (敬称略)

表彰	氏名	職業・学校名	料理名
最優秀賞 長野県知事賞	小林 福志	上田千曲高等学校	夏野菜冷や汁
優秀賞 長野県乳業協会会長賞	中川 智恵子	主婦	有り合わせのケーキサレ
優良賞 全農長野県本部会長賞	現役高校生(3名グループ)	蘇南高等学校	知らないなんてもったいない! 木曾(陸)のからすみ!
	笹岡 蒼心	飯山高等学校	new(乳)にらせんべい
	鈴木 夏渚	松本第一高等学校	パックプリン
	久保田 美優	下伊那農業高等学校	たっぷりミルクのチーズお好み焼き
	佐野 未優菜	上田千曲高等学校	夏野菜のマッシュポテトバーガー
	横井 美優	長野県立大学	サバたけのこグラタン
	下高井農林高等学校 食品製造部	下高井農林高等学校	のり・海苔?ミルクプリン

JA全農長野の事業現況▶

令和6年度11月末部門別実績表

(単位：百万円、%)

部門	区分	実績	計画比	前年比
生産振興課		4	0	0
野菜種苗センター		124	101	109
生産振興部計		128	104	112
米	穀	13,324	114	123
果実	花き	44,553	108	110
野菜	きのこ	65,331	96	103
営	業	12,026	92	104
生産販売部計		135,233	101	107
包装資材		6,600	100	103
生産資材		6,203	101	107
農業機械		4,509	101	107
施設住宅		3,691	115	62
生産購買部計		21,003	103	94
畜産酪農		21,526	105	100
三岳牧場		201	77	107
SPF繁殖センター		178	84	96
八ヶ岳牧場		213	100	117
畜産酪農部計		22,118	104	101
燃料・ホームエネルギー		16,845	98	100
SS協同経営		5,184	107	101
生	活	5,196	99	85
生活部計		27,225	100	97
長野県本部計		205,700	101	103

(内部販売高含む)

1月のラジオ番組表▶

放送日時	放送局	番組名	放送内容(予定)
1月29日(水) 11:50	SBC ラジオ	坂ちゃんのずくだせえびりでい内 「暮らしの応援団」	燃料・ホーム エネルギー課

>>> A-Board

生産振興部からの お知らせ

毎月発行「信州のそ菜」「信州の果実」
栽培技術から、販売、流通、最新のトレンドまで
農業に役立つ農業専門誌が

ネットでは
探せない
技術や知識
が盛りだくさん

デジタル版で 持ち歩いて読める

長野県農政部や農業試験場、農業農村支援
センターなどの農業の専門家による詳しい
解説で、収量と売上アップの指南書です！

お持ちのスマートフォン、
パソコン、タブレットで
読むことができます。
※アプリのダウンロードは不要です

■ 購読料 長野県のJA組合員料金(正組合員および准組合員)

信州のそ菜	信州の果実	両誌 信州のそ菜・信州の果実
4,400円 (年額・税込)	4,400円 (年額・税込)	8,800円 (年額・税込)

光と風と水のハーモニー
JA全農長野
生産振興部生産振興課 園芸情報誌電子版担当
✉ zz_nn_kajitsu_sosai@zennoh.or.jp ☎ 026-219-3811 (受付時間/平日 9:00~17:00)

詳しくはサイトを
チェック！

グリーンレーダー
X(旧ツイッター)はこちら▶



グリーンレーダー
WEB版はこちら▶



編集後記

あけましておめでとございます。旧
年中は格別のご厚情を賜り、誠にありが
とございました。おかげさまで本誌も
ここに、2025 vol.548 1月号
を発行することができました。年末年始
休暇は12月28日(出)1月5日(日)と最大
9日間となり、お正月に本誌をご覧いた
だいている読者も多いかと存じます。

長野県には、お年取りという風習が多
くの家庭に残っており、大晦日に1年
の中で最も豪華な食事を用意し、年取り魚
はもとより、お節も大晦日から食べはじ
めます。日本の多くの地域では、お正月元
旦にお節料理を囲み、豪華な食事を食べ
ることが一般的ですから、長野ならではの
風習なのかもしれません。

昔は我が家も家族3世代で一緒に迎
えるお年取りは行事でした。30年以上前
ですが、私が学生で上京していた頃、大晦
日にコンビニエンスストアの深夜アルバイト
に勤しんでおり帰省しなかつたことが
ありました。バイトが終わった元旦の朝、
店を出ると目の前に松本ナンバーの車が
鎮座し鬼の形相の親父が待ち受けていま
した。当時は「初日の出暴走」が社会問題
化しており、大晦日の中央自動車道を上
京するのはとても大変だったであらう中
を、親父は晩中車を飛ばし迎えにきたの
でした。正月から説教かと辟易としまし
たが、「お年取りくらい顔を見せなきゃだ
めだろっ、みんな心配してる」と言われ
涙したことは思い出です。

コロナ禍や多様化の時代となり、お年
取りもやり方その形も大きく変わってき
ていると思いますが、新年を迎えるにあ
たり、家族揃って年の弥栄を祈る。そん
なお正月を迎えたいと思います。(一)

第54回

入場無料

信州フラワーショー ウィンターセレクション

長野県内で生産されている切花や花木などを一堂に集めて展示し、
品評会を開催し、審査後に一般公開をします。

令和7年**1月23日(木)**15:00~18:00

1月24日(金)9:00~13:00

場所: **JA南信会館 3階会議室**
(伊那市狐島4381)

内 容

切花や花木類の展示・予約販売※
フラワーアレンジメントや花束の即売
資材等の展示などを予定



※予約販売 展示品は一般公開中に予約販売し、
1/24(金)13:00~14:00に引き渡します。

問合せ先: **JA全農長野 果実花き課**
(担当: 滝澤)

TEL 026-236-2222



光と風と水のハーモニー
JA全農長野



写真はイメージです。

主催 **JA全農長野花き専門委員会・全国農業協同組合連合会長野県本部**
後援 **長野県、伊那市、長野県農業協同組合中央会**



光と風と水のハーモニー
JA全農長野



JA 全農長野ホームページ…………… <https://www.nn.zennoh.or.jp>
インターネットで産地直送「JA タウン」…………… <https://www.ja-town.com>

